

学習塾アトムズ

新設する中学部門の特進コースへ ウイングネットを導入 「未来の学力」を伸ばす学習塾 地域に根ざし、地域とともに育つもの

佐藤 将人
代表取締役



学習塾アトムズ 佐藤将人 代表取締役

地元、石巻で
総合教育機関を目指す

学生時代、大手学習塾でのアルバイト経験を基に友人たちと家庭教師派遣業を始めました。その後、中学生を対象にした学習塾を開校し、私の地元・石巻に教室を移転したのが東日本大震災の2年前です。現在は受験指導のほか、小学生向けの放課後児童クラブやプログラミング、速読、読書コース、キャリア教育など多岐にわたり、幼児から高校生までを対象に約12年一貫教育を行う総合教育機関を目指しています。

中でも高校部の設立はウイングネットの導入抜きにはなし得ませんでした。現在、私が高校部を運営できているのはウイングネットのおかげです。大学受験に必要な各科目が網羅されており、質も高い。大きく変わっていく入試にもいち早く対応し、情報も早く入ってくるので大変助かっています。萩原社長の人柄の



塾の卒業生 スタッフの阿部氏

宮城県石巻市にある学習塾アトムズ（佐藤将人代表）は速読やプログラミング、放課後児童クラブ（学童保育）、キャリア教育を取り入れ、子どもの「未来の学力」を伸ばす学習塾として石巻の教育に大きく貢献している。本誌ではウイングネットを活用した高校部の開設から2年ほど経った2021年秋、取材に伺ったことがある。震災からの復興途上にコロナ禍が襲ったことで、その歩みは遅れたもののように「戻った」と感じられるようになったという。



ウイングネットで学習する高校生

今回は中学部へのウイングネット導入や通信制高校の生徒サポートでもウイングネットを使う計画があるとのこと、2年ぶりに石巻を訪ねることになった。

中学生が在る」とお伝えした生徒は現在高校2年生で東大を目指しています。ウイングネットには東大を狙えるコンテンツも入っています。石巻の人からすると東大はテレビの向こうの世界という感覚ですが、上位の大学を目指し、本気で勉強する先輩の姿を見せることは後輩たちに非常に良い刺激となると思うのです。



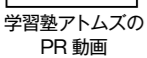
夏祭り

理由は、映像授業についていけない生徒もいるのではないかと心配していたからです。個別最適化をすすめるにあたり、対面授業と映像授業のバランスも大事だと感じています。高校の特進クラス同様、中学部にも上位クラスを新設し、ウイングネットを導入することにしました。中学生の段階でも大学進学を見据えた学習ができるよう、ウイングネットを使って先を見せたいと思ったのです。

小学生の満足度が高いのは明らかですが、中学生にも楽しんで塾に来てもらえるような仕掛けも考えています。コロナ以前は小中学生で修学旅行を実施していましたが、今度は中高生でスキーにでも行こうと思っています。中学生と高校生でつながりができ、お互いに良い刺激を与えられたら



節分まめまき会



学習塾アトムズのPR動画

ハロウィン



学習の様子

継続への流れができるかなと考えています。私たちとしてもせっかくなってきた生徒を高3までしっかり見ていきたいのです。

地域を巻き込み、地域全体で子どもたちを育てる

弊社では3年前から児童クラブも運営しております。児童クラブから塾に来てくれることもありますが、また、イベントは児童クラブの子たちとも一緒にを行っています。直近では節分の豆まき。今年は年男、年女の子どもたちに節分についての紙芝居してもらい、2階の窓から豆とお菓子を播きました。夏祭りでは地域のキッチンカーを呼び、ハロウィンでは地元のお店を回らせてもらっています。4月からは通信制高校の生徒サポートすることになり、地域の中学校へ挨拶に回ったことで学校関係者や市の職員と話す機会が増えました。地域と繋がっていることをより実感しています。

その生徒へのサポートとして希望者にウイングネットを勧める予定です。

もともと、当塾の高等部にはキャリア教育の一環として中小企業診断士や税理士など専門家を講師に招き、経営の基礎を学び、自分たちのビジネスプランをブラッシュアップしていく「学力&経営実践コース」を設けていました。ビジネスプランで受賞できるレベルを目指すという本格的なものが、学校の成績がある程度キープすることが条件であるため、こちらでもウイングネットを活用しています。ウイングネットはあらゆる入試に対応して、あらゆる学力層の生徒に対応できるため、全ての生徒に有益です。生徒の選択肢を増やしてくれれます。大学に進学しない

当塾では小学生の在籍比率が高く、中学部と高校部の集客が課題でした。他塾に比べると退塾が少なく、小6から中学部への継続は当たり前。口コミでの入塾が多く、指導に注力したかった

小学部から中学部、高等部へと継続させる仕組み作り

たことから大々的な広告を打つことはしませんでした。小学生は順調に集客できているため、そのまま中高も増えていくだろうと楽観視していたところがあったのかもしれない。昨年、経済的理由等で、小6から中1への進級につなげることができない生徒がおりました。物価高騰などの理由もありますが、例年との違いを感じ、このままではいけないという危機感を感じました。

具体的には中学校につなげるための先取り授業を2月から実施し、中学部にウイングネットを導入します。また、異年齢の生徒同士の交流を積極的に行っていく予定です。高校部では一昨年、特進クラスを作りました。前回の取材で「大学受験を視野に入れ、すでにウイングネットで学習してい

生徒でも、選択肢があつて希望しないのと最初から選択肢がないのでは大きく異なります。多様な選択肢の中から自分に合った進路を選択してほしい、生徒一人ひとりの進路に寄り添いたいと願う私たちにとっても大きな力となっております。

ようやく震災の影響から抜け出した

能登地震の被害を見て、震災に遭った当時の記憶がよみがえりました。2つの教室が被害を受け、仮の教室ですと授業を続けていました。ここへの移転は5年ほど前です。リフォームした際には東日本大震災の補助金が一部充てられました。とてもありがたかったのですが、被災した当時は情報を得ることができず、とにかく1日でも早く再開することだけを考えてました。情報を知って上手に活用できていれば、より早く事業を再開できていたかもしれません。能登地方で同様に被害に遭った塾経営者の方へ、サポートは意外とたくさんあると伝えたいです。そして、当塾のように震災から復興した塾があること、そのことが希望になればいいなと思っています。



ハロウィン



宮城県石巻市にある学習塾アトムズ